
新・発想を変えてみよう

地球の星

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

新・発想を変えてみよう

【Nコード】

N2672C

【作者名】

地球の星

【あらすじ】

以前このサイトに連載した「発想を変えてみよう」の続編です。物事にはいくつもの考え方があります。では、どうすれば考え方が前向きになるのでしょうか？これからいくつかの例を挙げていきます。これまでの発想を変えてみましょう。

1. 「今さら」を「今から」に変えてみよう

この小説の作者、地球の星と申します。

以前このサイトに投稿し、読者の皆様から好評をいただいた「発想を変えてみよう」をこの度、また連載することにしました。

さて、この場を借りまして、前作の連載終了から今作の連載開始に至るまでの経緯を説明します。

実は連載を終了した時、アイデアはまだいくつもありました。

正直、投稿しようと思えばいくつか出来ました。

しかし、初めての連載作品だったせいか、作品を載せる度にそれまで短編作品を投稿していた時とは違ったプレッシャーを感じるようになってきました。

そして作品のレベルを維持する自信がなくなり、連載をやめました。

(その後、銃による衝撃的な事件が起きた時に、即興で一作品だけ作って掲載しました。)

連載は早いうちに再開したいと考えていましたが、その後は「ふたつの国のために」の連載を開始したこともあってどうしても時間がとれなくなりました。

「ふたつの」連載終了後は精神的に疲れてしまい、作品を作って投稿する気が起きなかつたため、他の作者の作品を読むでは評価に専念していました。

連載開始が遅れるうちに「今さら連載しても…」と思ったこともありました。

しかし「発想を」のアクセス数は毎日のようにカウントされ続け、本当にたくさんの人達に読まれているんだなと実感出来ました。そうしているうちに「今からでも遅くはない。もう一度やろう。」という気持ちになりました、再び連載を開始することを決意しまし

た。

人間「今さら」と言いたくなる時はきつとあると思います。

20代後半になって今さら韓国語を始めても、果たしてマスターできるのだろうかと考える人もいるでしょう。

親と仲が悪くなって家を飛び出してしまい、今さらどの顔をして戻ればいいのかと思っっている人もいることでしょう。

手違いで一度投稿した作品を誤って消してしまい、今さらまた打ち直しても思った人もいるでしょう。

でもはつきり言っつて、遅くはないのです。

「今さら」と言いたくなつた時には、それを「今から」に変えてみましょう。

たった一字違うだけですが、その後続く言葉はきつと前向きになるはずですよ。

なお、以前連載していた「新・発想を変えてみよう」は自分の手違いで削除してしまいました。

そのため、1から打ち直しました。

全てのアイデアを復活させることは出来ないかもしれませんが、応援よろしく願います。

2・打てばアイデアは生まれてくる

僕はこれまでこのサイトや別サイトに、いくつもの作品を投稿してきました。

その中には試行錯誤の末に長い時間をかけて作ったものもあります。一方で、ほとんど即興で作ったものもあります。

作品中の使われているアイデアも、思いついた時はバラバラです。ずっと前から心の中に秘めていたものもありますし、仕事中に思いついて財布の中に入っていた買い物レシートにメモし、その日の夜に文章にすることもあります。

しかしいざ文章を打っている時に、急に思いつくことも少なくありません。

いつもと言うわけではありませんが、パソコンの前に座って文章を打ち続けていれば、何故かアイデアが出てくるのです。

自分でも不思議です。

理由を聞かれてもうまく答えられません。

まさに調子に乗って、普段の実力以上の成果を発揮している状態です。

僕はその時、中日ドラゴンズのファンがチャンスの時に言っている言葉をよく心の中で思い出しています。

「打て！打て！打て！打て！。打って、打って、打ちまくれ！」

まさにこのようなノリです。

世の中、考えて行動するのは大事です。

しかし、行動して考えるのも、時として結構面白いです。

打てばアイデアはどんどんわいて出てきます。

本当に作品に出来るか不安でも、思い切って行動してみましょう。予想以上の成果が得られるかもしれません。

余談ですが、僕は中日ファンです。

3・時代は常に動いている

何気なく毎日を過ごしていると気づかないかもしれませんが、時代は常に動いています。

研究開発の世界では、今日も様々なアイデアを駆使して、新製品の開発に力を注いでいる人がいます。

もし新製品を世に出したとして、それが大ヒットしたとしても、その歓喜は未来永劫続くわけではありません。

他社の技術者達は早速それをそれを買い込んで調べ上げ、新たな製品を作り出してくるはずですよ。

研究の世界は大体3年経てば、状況はガラッと変わってしまうと思います。

2006年に行われた野球のWBCでは、日本が優勝を飾りました。

その後、テレビでは度々コメンテーターが「日本の野球は世界一だ。」と言うシーンが報道されました。

しかし、何度も聞いているうちに、僕は（まだ過去の栄光に目がいっているの？）と思えてきました。

6勝1敗の成績を残しながらベスト4止まりだった韓国をはじめ、優勝出来なかった国々は、その悔しさを胸に秘めながら素早く気持ちを切り替え、すぐに次に向けて歩き出したと思います。

僕自身も2006年の日本シリーズで中日が敗退した時の悔しさは、決して忘れてはいません。

だからいつまでも「日本の野球は〜」と言っていては、どんどん出遅れていきそうな気がしました。

時代は常に動き続けています。

いつまでも過去の栄光ばかりを見つめているわけにはいきません。
しかし不遇もいつまでも続くわけでもありません。
人間万事塞翁が馬です。
変わり行く時代を楽しんで生きましよう。

4・誰も気づかないようでも、人はしっかりと見ている

今、会社では地球環境の保護を目的として、クールビズやごみの分別、節電などを呼びかけることは多いと思います。

僕も積極的に節電をしていますし、分別もしています。

他の社員の方も色々されていると思います。

しかし、会社のお手洗いにいる時、時々トイレトーパーをガラガラまわしてちぎっては、またすぐにガラガラまわす音が聞こえてくる場合があります。

その人のくせなのかもしれませんが、たくさん手に取った割には、実際に使っている部分は多くない気がします。

僕としてはもったいないと思えてきます。

お手洗いの個室の中は誰からも見られません。その人が出てこなければ誰なのかは分かりませんが、少なくとも音はしっかりと聞こえています。

もし、その人が普段からクールビズや節電などに積極的にかかわっていたとしても、これでは説得力が落ちてしまいます。

外国を旅行した時には、当然ですが言葉が通じないといったケースが少なくないはずですよ。

僕自身も何度も経験していますので、気持ちは分かります。

しかし、相手には分からないと考えて、自分の国の言葉で相手の国の人嫌がるようなことを言うのはやめましょう。

もしだれか理解出来る人がそれを聞いてしまったら、とんでもないことになります。

たとえば言っている内容が通じなくても、口調や表情などで、何か良からぬことを言っていることは分かります。

こういう時、相手は妄想を働かせて、最悪の言葉を想像してしまいます。

人間、誰も見ていないようなところ、気づかないようなところで本音が出ます。

その時に、相手はあなたの本当の姿を見抜いているのです。

5・対等な立場に立つ

人生、他人を批判することは少なくないと思います。

政治の世界では、議員の人の発言に対して批判する光景を目にすることがあります。

批判することはいけないことはありません。

しかし他人を批判するなら、明日は我が身と自覚した上でお願いしたいと思います。

辛口な言い方をしますが、議員さん達は選挙によって国民の代表となったわけです。

ファン投票で選ばれたプロスポーツの選手は、我々に感謝の気持ちを大いに示してくれますし、生き方の見本となるような態度をたくさん見せてくれます。

そのような態度をもっと見せてほしいと思っています。

他人批判の光景はもう見飽きました。

会社でも、正社員の上司が、アルバイトや派遣社員の部下を叱る場合には言葉に注意が必要です。決して立場や安定性、賃金の違いを利用してはいけません。

もし上司が「いつでもやめたっていいんだぞ。」と言ってしまった場合、その言葉は部下の役には立ちません。

（この人は安定しているからそんなことが言えるんだ。）と思われるてしまいます。

「君、時給いくらもらっているんだね？」と言ってしまった場合は（そっちは一定の賃金が保証されているからそんなこと言えるんだ。）と思われるてしまいます。

プロスポーツチームの監督は、決して安定した世界ではありません。
ん。

結果が出なければ容赦なくクビという現実が待っています。

自分自身にその危機感があるからこそ、監督からの言葉には説得力が生まれます。

人を叱る場合には対等な立場に立ち、相手が反論出来るような余地を与えた上で行いましょう。

相手から言い返されるのが怖いのなら、叱らないほうがお得です。

6・優しさは普段からの積み重ねが大切

僕は2001年から2004年まで中日ドラゴンズに在籍していた川崎憲次郎投手を応援していました。

しかし、中日に在籍していた4年間は肩の故障に苦しみ、登板すらままならない状況が続きました。

ちまたでは「川崎はもうだめだな。」という声があちこちから聞かれました。

そんな中でも僕は「そんなことない。きっと復活してくれる。」と信じ続け、最後までその意見に抵抗し続けました。

だからこそ、2004年10月2日に新聞で引退の記事が載った時には愕然としました。

翌、10月3日に1イニングの引退登板をした時には、ナゴヤドーム全体が感動に包まれました。

僕はラジオで聞いていましたが、すごく感動しました。涙もあふれました。

その後、ニュースやスポーツ番組で見た時にも、思わず涙があふれそうになったことを覚えています。

中日で活躍出来なかったけれど、僕は川崎投手を決して忘れません。あなたはいつまでも僕のヒーローです。

いつかマスターズリーグで登板することになったら、盛大な拍手で迎えたいと思います。

しかし、後になって気づいたことですが、「もうだめだな。」と saying おいて、引退の時だけ感動し、その後はまた冷たいことを言っている人もいるのではないかと思えてきました。

こういったケースは世の中で結構起きている気がします。

学校である生徒をいじめておいて、その人がいざ転校することに

なつた時に仲良くしようとしても、当の本人は気持ちを切り替えてくれるでしょうか？

会社で部下に冷たくあたっておいて、その人が「会社を辞めます。」と言つた時に引きとめようとしても、当の本人は残留を決意してくれるでしょうか？

優しさは普段からの積み重ねが大事です。

あなたの取っている行動を振り返ってみて、もし心当たりがあったら、今からでも優しさの積み重ねをしておきましょう。

7・それでも誇りを持ち続ける人がいる

記憶に新しいと思いますが、以前英会話NOVAの不祥事に関する報道がされた時期がありました。

皆様には色々な思惑が頭をよぎったと思います。

正直に言いますと、僕はNOVAの生徒です。

ニュースですぐには受け入れがたい事実を思い知らされ、コメントーターが「このような悪徳業者が…」と言った時には、さすがに心が痛みました。

NOVAに行った時には、受付の人や先生方、生徒達にも悔しい気持ちで漂っていましたし、これからに対する不安がひしひしと伝わってきました。

そんな中で、僕は「発想を変えてみよう」の内容について話しながら、何とか雰囲気明るくしようとしたことがあります。

この先もまだまだ厳しい状況が続くと思いますが、それでも僕にはNOVAに対する愛着があります。

僕は今でこそ精神的に成長し、この作品が作れるまでになりました。

しかし98年にNOVAに入学した時には、引っ込み思案な性格で、人と会話したり、遊びに誘ったりすることが苦手でした。

集団の中においても自分だけ何を話せばいいのか分からないまま黙ってしまい、疎外感を感じてしまうことも珍しくありませんでした。何とか自分を変えようと努力をしながらも、なかなか結果が出ない状況が続きました。

そんな中でターニングポイントとなったのがNOVAでした。

不器用ながら英語を一生懸命話しているうちに、英語力の上達と共に、性格もどんどん変わっていき、笑顔が増えていくのが分かりました。

正直、外国人のほうが意気投合出来るような気もしました。

僕は本当にNOVAには感謝しています。

途中、お金がなくなったり、留学したりして中断した時期もありましたが、僕は今でもNOVAの生徒です。

そしてこれからお世話になり続けるつもりです。

ニュースを聞いて、NOVAに失望してしまった人は少なくないと思います。

しかし逆境になっても僕のように誇りを持ち続ける人もきつといるはずです。

自分がつとめていた会社で何か良からぬことが起き、悔しい思いをしたという人も世の中には少なくないと思います。

そんな人達に、僕はこの作品を通じて前向きな気持ちを届けたいと思っています。

(8月17日加筆)

僕はお盆休みを利用して、この度6泊7日の国内旅行に行ってきました。

その際、6泊全てで東横インを利用しました。

東横インも2006年には不正改造問題に揺れ、大変な時期がありました。

その際失望してしまった人も多いと思います。心無いやじにさらされた関係者の人も多いと思います。

それでも僕は東横インが好きです。これからも旅行に出かけたらどんどん利用するつもりです。

こういった気持ちを持つてくれる人が増えてくれると嬉しいです。

(2008年1月14日加筆)

既にご存知の方も多いと思いますが、英会話NOVAは去年10月に閉鎖となりました。

そしてその後、いくつかの学校は再び開校となりました。

僕は所属している学校が開校になることを信じながら待ち続けましたが、この度ECCに移ることを決めました。

このような作品を作っておきながら自分が移籍してしまうのは誠に申し訳ないのですが、悩みぬいた末に決断しました。

しかしNOVAへの愛着は決してなくなっではいけません。

今後もNOVAを見守り続けるつもりです。

8・行動でアピールしよう

テレビで政治のニュースを見てみると、政治家がライバル政党の議員さんを批判している光景を目にすることがあります。

また、党の宣伝では「日本を変えます。」というような言葉をよく目にします。

もちろんそれはいいことです。しかし、年金問題などを見ていると、どうも僕としては具体策が見えず、他人批判が目立つような気がします。

年金問題では、自分達のボーナスを返納しますといった行動に対し、そんなことをして何かっこつけているの？と言うような議員さんの姿も目にしました。

では僕から質問をしますが、彼らには何かもつといい、代わりの策があるのでしょいか？

僕はつぎはぎだらけのやり方であったとしても、年金問題を何とかしようと、相談窓口で相談にのじたり、少しでも国民がもらえる年金の額を上げようと行動で奮闘している人を評価しています。

特に報道はなされていないようですが、相談窓口があつたおかげで、見事にトラブルが解決した人もいるはずです。

メディアにはもつとこうした前向きな報道をしてほしいと思います。

ここで一つ具体策として、世界恐慌が起きた時のニューディール政策を取り上げたいと思います。

世界的な大不況が起き、世の中が大混乱になっていた頃、アメリカでは働ける人の4人に1人が失業してしまうといった事態になりました。

国民の不満も相当なものだつたと思いますし、議員さん達も当時の大統領だつたフーバーに激しくつめ寄りました。

もちろんフーバー大統領もあの手を尽くしましたが、事態を好転させるまでには至りませんでした。

そんな中、1932年にルーズベルトが大統領になり、直ちにニューディール政策を実施しました。

彼が行ったことは、莫大な予算を使って銀行の倒産を防ぎ、道路やアパート、ダム建設を積極的に行って大勢の人に仕事を与えるというものでした。

また当時は農作物が余計に作られていたために、価格が安く、農家の生活は苦しい状態でした。

ルーズベルトは彼らのために、農作物の生産量を制限して価格を上げ、さらには補助金を出して救済しました。

その甲斐あって景気は一旦は回復しました。しかし、政府は大幅な赤字財政に陥り、時の野党からは激しい反発にあいました。

肝心の景気もまた落ちてしまった時期があります。

しかし、アメリカ人はこのような行動で国民を救済してくれたニューディール政策を決して忘れないと思います。

この時、もし口で政府を批判し、国民の声を議会で取り上げてアピールをしたとしても、それだけでは失業者に仕事は与えてもらえなかったと思いますし、不満は消えなかったと思います。

僕は過去に選挙のお手伝いをしたことがあります。

その人は当選した後、議会で様々なことを提案して予算を取り付け、私達の生活改善のために尽くしてくれました。

その結果、たった1台の右折車のために渋滞が出来ていた交差点では、右折レーンが設けられ、大幅に改善されました。

側道からなかなか車が出られずにいた十字路の交差点では、信号機が取り付けられ、車が必要以上に待たされることもなくなりました。

「日本を変えます。」といった大きなことよりも、僕としてはこう

いうことのほうが嬉しかったですし、この議員さんには本当に感謝しています。

辛口な言い方をしますが、口でなら誰でも立派なことが言えます。しかし、本当に人を引きつけることが出来るのは行動です。

メールで何度も「一緒に遊びに行こうね。」と言う人よりも、実際に一緒に遊んでくれる人のほうが僕は好きです。

皆様も行動でアピールしてみましよう。

9・あいさつは魔法の言葉

駅の改札口や会社の門のところで、よく「おはようございます。」
と言う人がいます。

何も言わずに通り過ぎていく人も多いですが、僕は彼らを見ると
「おはようございます。」と返しています。

何気ないようなやり取りに見えますが、僕はこれが結構楽しみで
す。

では、彼らは何故あいさつをしているのでしょうか？

僕は私達の心を前向きにするために言っているのだと考えていま
す。

朝出勤する時に、下車駅の改札口や会社の入口であいさつをする
と、今日も1日がんばろうという気がわいてきます。

それまでどこかむっつりとしていた表情が和らぎ、自然と笑顔が
わいてきます。

また、知らない人と会って何を言い出せばいいのか分からない時、
あいさつをすれば途端に会話がしやすくなり、お互いが打ち解けら
れるようになります。

仕事やデートをした時にけんかをしてしまい、気まずい雰囲気にな
ったまま家に帰ってきてしまった。明日会ったら何て言えばいい
のだろう？

そんな時でも、翌日何事もなかったかのような表情で元気にあい
さつをすれば、それまでのモヤモヤは一気に吹き飛んでしまいます。

実はあいさつは魔法の言葉だったのです。

心を明るくしてくれて、しかも良くない副作用は一切ありません。
日々を明るく過ごしていくのになくってはならないものなのです。

あなたも明日、「おはようございます。」と言ってくれる人に出

会ったら、元気に「おはようございます。」と返しましょう。

お辞儀もして、元気良くはつきり言つとより効果的です。

「おはようございます。」

ほら、心が明るくなったでしょ？

まさに魔法の言葉なのです。

10・命は一つ だから秩序は守られている

誰もが知っていることですが、私達に与えられた命は一つだけです。

もし失ってしまったら、生きてこの世界に戻ってくることは出来ません。

皆様は人生の中で、もし生き返ることが出来たらと思ったことがきつとあると思います。

もちろん、僕もそう思ったことがあります。

では、もし命を落とすようなことがあっても、一度だけ生き返ることが出来るとしたらどうなるのでしょうか？

最初はある程度余裕を持って生きることが出来ます。

しかし、もし一度命を落とした後になってしまったら、もう失敗は許されないわけですから、かなりのプレッシャーがかかってくると思います。

ゲームオーバーになるともうやり直しが出来ないテレビゲームをやっていると思います。

その時、もしプレイヤーの残数があと一人だけになってしまったらどうでしょうか？

また「人は死んでも生き返る。」ということがまかり通るわけですから、少なくとも今より命を粗末にする事態がずっと多くなると思えます。

一度、死んだ人の体験談を聞いて「死ってこういうものなんだよ。」と聞かされると、興味本位で真似をしてしまう人も出てくると思います。

もし相手が一度命を落としていたとしても、それを知らなければ結局取り返しのつかないことをまねいたりもすると思います。

学校でのいじめもずっとひどくなると思います。

職場での嫌がらせもずっとひどくなると思います。

犯罪もずっと多くなると思います。

戦争で自殺行為にはしる人もずっと多くなると思います。

治安はずっと悪くなると思います。

それでも命はたった2つしかないのです。

では、お金さえ払えば何度でも生き返られることが出来たらどうなるでしょうか？

これはテレビゲームに例えれば分かりやすいと思います。

僕は子供の頃テレビゲームに熱中していましたが、その時プレイヤーが死んでも「生き返らせるために使うお金がもつたいないなあ」と何気なくつぶやいていたことを覚えています。

あの頃は死についての考えが浅はかになっていたようでした。

今考えると、何てことを言っていたんだろうと思います。

もし現実がこうなったら、人が死んでも誰も悲しんでくれないような気がします。

ゲームにけちをつけるようで申し分けないですが、僕はこんな世界には住みたくないです。

変えられない現実がもし変わってしまったら、世の中は大混乱になると思います。

結局命は一つしかないからこそ、世の中の秩序は守られているということが言えるのです。

一つしかない命、大事にしましょう。

なお、この作品を執筆するにあたって、天川りか先生の「A copy of life」を参考資料とさせて頂きました。

また僕の操作ミスで削除されてしまいました。金沢 巧先生か

らいただいたこの作品に対する感想も考慮しました。

天川先生、金沢先生にはこの場を借りて御礼を申し上げます。
どうもありがとうございました。

11. あなたは何かをしている 人に役に立っている

憂うつだな、今日は1日何もしなかった。

朝起きて、食事して、適当に遊んで、何か愚痴を言って、風呂に入って、夜寝た。

言わば「食っちゃ寝」「食う寝る遊ぶ」() どちらも古っ！() の状態だなあ…。

このままでいいわけがない、何かしたい。でも何をすればいいんだろう…。

こんな体験は結構あるのではないのでしょうか？

僕もこんな状況を幾度も経験しました。

でも、本当に何もしなかったのでしょうか？

ちよつと振り返ってみましょう。

ほら、朝ちゃんと起きたでしょう。

ちゃんと食事をしたでしょう。

自分の足で遊びに出かけたでしょう。

自分の口でちゃんとしゃべったでしょう。

風呂で疲れを取ることが出来たでしょう。

ちゃんと夜寝床に向かっていったでしょう。

ほら、何かをしているのです。

とは言え、当たり前前のことを並べただけかもしれませんが。

しかし、当たり前前の方が出来ることに感謝しましょう。

もし何かあると、当たり前前と比べていることが出来なくなってしまう。まいます。

例えば片手を骨折してしまつたとします。

すると自分で自転車をこぐことも出来なくなってしまう。

学校へ通うにも、親に車で送ってもらわなければなりません。会社へ行くにも、これでは車を運転するのがおっかなくなってしまう。

（僕はもしこうなったら運転を取りやめます。）

飲食店に行ったときでも、箸が持てなくなったり、茶碗が持てなくなってしまうため、注文出来るメニューもカレーライスやチャーハンなどに限定されてしまいます。

お金を払うのも大変です。

では、片足を骨折してしまつたとします。

自転車も車も運転出来ません。

遊びに行けません。

トイレで用をたしたり、風呂に入るのもかなり大変です。

当たり前になにか出来ることに感謝する気持ちを忘れないようにしましょう。

そうすれば、いいことがきつと待っています。

では、いいことって何でしょうか？

一例をあげますと、このサイトの小説を読んで、感想を書いて作者に送り、感謝のメッセージが来れば、それはまさにいいことです。すごく嬉しいと思います。書いてよかったと思うことです。

僕も投稿した作品のアクセス数が増えるたびに、本当に感謝しています。

「読んでくれてありがとう。」と、テレパシーを送っています。

僕の作品を読んで、僕から感謝してもらえた。

それであなたはもうすでに誰かの役に立っているのです。

なお、この作品を執筆するにあたり、金沢 巧先生の「ファイア

バグ」「友達ってなんだろう?」「いじめられるか」を参考資料とさせていただきました。

金沢先生にはこの場を借りて御礼を申し上げます。

どうもありがとうございました。

12・反日感情もきつと役に立つ

今、日本と韓国はとても身近な存在になりました。

お互いの国に行く人の数もかなり多いですし、僕としては本当に嬉しいです。

しかし、時として反日感情に関するような報道に出くわすこともあると思います。

僕が韓国に行った時にも、親日的な一面をたくさん見た反面、ちよつと考えさせられたこともあります。

韓国の歴史について学べる施設に行った時には「豊臣秀吉率いる軍の侵攻によって破壊されたが、その後再建された。」といった記述も見ました。

日本に支配された時に、独立を目指して賢明に努力した人についての記述も見ました。

他にも考えさせられるようなことはありません。

しかし、反日感情はきつと日本人の役に立つと思つたのも事実です。

日本は第二次世界大戦で敗戦してから二度と過ちを繰り返さないことを世界に宣言し、60年あまりの間、本当に守り通してきました。

自衛隊や憲法第9条のことで色々議論されており、言葉のあやも色々あるかと思いますが、それでもこれだけ平和に過ごすことが出来たことは、世界に誇れると思います。

しかし、あと20年、30年したら、戦争を経験した日本人はいなくなってしまうと思います。

そうになったら「二度と過ちを繰り返さない」という気持ちを果たしてどこまで保てるでしょうか？

少なくとも今よりは気持ちが薄れていく気がします。

正直日本人だけでは限界があるかもしれない。何か新しい考えが必要になるだろうと、僕は以前から考えていました。

そんな時、韓国で上記のようなことを体験しました。

日本では学ぶことが出来なかった事実について学べたことは新鮮でしたし、新しい考えを生み出すきっかけにもなりました。

僕としてはこれからは外国の人達と色々情報を交わしながら気持ちを共有し、そして「二度と過ちを繰り返さない」という気持ちを高めることが出来ればと思っています。

反日感情で良くない思いをしたこともありますが、きっと日本人の役に立つと僕は信じています。

外国の人達の中にもヒロシマ、ナガサキについて知りたがっている人は大勢います。

国や考え方が違っても「この世界を平和にしたい。」「戦争はしたくない。」という気持ちは世界共通なのです。

13 ポジティブ度は下がって相手に伝わる

あなたは普段から人をほめていますか？

前向きなことを言っていますか？

人に笑顔を見せていますか？

それはいいことですね。これからも続けてください。

しかし、気持ちを込めて前向きなことを言っても、相手にはあまり本気にももらえないことも多いと思います。

単なるおぜじだと思われたりすることだってあるでしょう。

（まれにですが、人生を変えるターニングポイントになることもあると思います。）

では、相手をけなしたり、気にしているようなことを言っていないか？

言っている本人は大抵の場合、そんなに大した意味で言っていないと思います。

しかし、相手にはかなり嫌な意味で伝わっているはずですよ。

会社の同僚に、冗談半分でついつい「お前ってダメなやつだな。」根性なしだな。」と言ってしまった。

すると相手は（自分はダメなやつなんだ。）（自分は根性なしだ。）と真剣に思い悩んでしまいます。

言っている本人は自覚してないかもしれませんが、それは延々と繰り返されています。

そうしているうちに、同僚は会社をやめるとまで言い出してしまいます。

付き合っている誰かとうまくいっていない時、相手がうそをついてきました。

でもその人は何か事情があつたのです。自分を傷つけないように配慮しながら、そして気を引かせるためにうそを言ったのです。

言われた本人にはきつい一言になって伝わる思いますが、ここで「うそつき」などと言つてはいけません。

その言葉は自分が考えているよりも、もつときつい意味になって相手に伝わつてしまいます。

言われた相手は「私はうそつきなんだ。」と真剣に思い悩んでしまいます。

ついには本気で別れるという事態になってしまいます。

自分が発した言葉はほとんどの場合、ポジティブ度が下がって相手に伝わります。

相手に何か言う場合はそれを考慮に入れましょう。

自分がマイナスの言葉を発した場合は、相手には大きくマイナスの意味になってしまいます。

自分にとってはほめすぎくらいが相手にはちょうどいいのです。

最初は相手に伝わるポジティブ度は低いしれませんが、繰り返しほめるうちに、その度合いは少しずつ上がっていきます。

100%になることはほとんどありませんが、僕としては大体50〜70%のポジティブ度で伝わればOKだと思っています。

14・いじめの相談は9回2アウトのつもりで

先生であるあなたのもとに、一人の生徒が来て「君がいじめるので、助けてください。」と頼み込んできました。

この時、あなたはそんなに大したことではなさそうに感じ、さらには今忙しいのでまた今度にしようと思判断しました。

とりあえず「分かった。また今度ね。」と言って、相談を切り上げました。

その後、その生徒は相談に来なくなりました。

大したことではなかったんだな。それならまあいいか。

そう考え、何事もなかったかのように行動しました。

さて、この判断は正しかったのでしょうか？

実はその生徒は相談に来た時には、精神的にかなり追い詰められた状況だったのです。

これまで我慢に我慢を重ねたけれど、もう限界だ。先生、助けて！もう先生しか頼りに出来る人がいないんです。

そのような状態だったのです。

野球で言えば、絶対に勝たなければならぬ大事な試合でリードを許したまま9回2アウトを迎えてしまい、もう後がない状態です。相手からは試合中からずっと嫌なやじを浴びせられ、スタンドの観客からは執拗にブーイングを飛ばされ、もう耐え切れない状態です。

だから生徒は最後の望みを託して、先生であるあなたを代打に指名したのです。

その後、生徒が相談に来なくなったのは、どうせまたバットを振りもせずに三振するに決まっていると思っただからなのです。

いじめられている人は、土壇場になるまで耐え続けてしまうこと

が多いです。

だから彼らがいざ相談に来た時には、思いっきりバットを振って
応えましょう。

その時は結果的に三振しても、あなたの気持ちが伝われば生徒も
安心するはずですよ。

いじめの相談は一発勝負です。彼らのサインを見逃さないように
お願いします。

15・状況を理解してあげよう

駅の切符売り場でのことです。

一人の大人が、券売機の前で立ち止まったままそわそわしています。

あっちを向いたり、こっちを向いたりしたまま、なかなか切符を買おうとしません。

(何やっているんだよ。) と思えてきました。

さて、あなたはどうしますか？

実は券売機の前にいる人は、外国人だったのです。

その人は切符を買うのが初めてなので、どう買えばいいのか分からないのです。

しかも日本語がまだ不器用です。

多少しゃべることは出来ても、相手がペラペラしゃべりだすと、何を言っているのか理解出来なくなってしまう。

とにかくお金を入れてボタンを押しても、もし間違えたらさらに墓穴を掘ってしまいます。

だから、なかなか切符を買えずにいたのです。

ここまで理解出来れば、あなたは何とか助けてあげたくなるでしょう。

言葉は不器用であってもいいです。

とにかく行き先を確かめて、お金を券売機に入れ、切符を買ってあげるくらいのことは出来ると思います。

たとえ簡単に出来ることであっても、なれない土地来た人にはなかなか出来ないことがあります。

そんな状況を理解してあげましょう。

その上で手助けしてあげれば、相手はあなたのような人がいたことを決して忘れないと思います。

なお、この作品は僕が韓国釜山を一人旅した時に、初めて地下鉄の切符を買う時、ならびに金海国際空港行きのバス乗り場を探していた時の体験談をもとにして作りました。

16・国を代表する意識を持つ

電車に乗っていた時のことです。

あなたは7人掛けの椅子に座ろうとしました。

しかし、6人の人達が少しずつすき間を空けているため、あなたが座れません。

その時、一人の人が詰めて座るように指示してくれました。

続いてあなたに「どうぞ座ってください。」と言ってくれました。

そしてその言葉に甘えて座ることにしました。

あなたは（この人は親切だな。）と思いました。

こういった体験をしたら、誰だって嬉しいと思います。

では、外国で同様の体験をしましたとします。

この時、あなたはどう思いますか？

恐らく（この国の人は親切だな。）と思うことでしょう。

国籍の違う人に出会うと、私達は主語を「この国の人は」に変えて物事を考えることが多いと思います。

これは日本に在住していたり、日本を旅行している外国人にも当てはまります。

日本に関する情報は、母国のテレビや新聞などで色々報道されているので、ある程度知識はありますが、そればかりが全てではありません。

やっぱり生の日本人と接することで、この国の人を判断する一面だけだっているはずですよ。

私達が親切に接してくれれば（日本人は親切だ。）と解釈するでしょうし、もし冷たく接したら（日本人は何て冷たいんだ。）と解釈することでしょう。

もしあなたが、外国の人に出会った場合、あなたは日本人の代表

です。

国を代表する意識を心のどこかに持つておきましょう。

この作品は、映画「あなたを忘れない」のDVDを見ながら執筆しました。

きっと李秀賢さんも韓国を代表する気持ちを持っていたことでしょう。

年齢は僕のほうが上になりましたが、あなたはいつまでも偉大な先輩です。

日本語は難しい言語だという話を耳にすることがあります。恐らく間違っではないと思います。

漢字がたくさんある上に読み方が複数あるため、意味が通じるように当てはめなければなりません。

時として特別な読み方をする場合もあります。

看板や広告の字を読む時には、読み仮名がないと分かりにくい場合があると思います。

外国人が習得するにはかなりの努力が必要です。

でも、他の言語だって難しいです。

英語は同じアルファベットでも、読み方が複数あります。

aを「エイ」と言ったり「ア」、「エ」（アとエの間あたりの発音）、「アイ」（オーストラリアなまり）と言ったりします。

さらには、RとLの区別はかなり難しいです。

英語が話せる僕でも、未だに相手が言った発音を区別が出来ないため、意味が通じるほうを頭の中で選んでいるのが現状です。

韓国語は母音が21個、子音が19個あるため、日本語よりも発音の種類が多いです。

英語のRとLのように、違いはあるのに未だに区別出来ない発音はたくさんあります。

しかもリエゾンがあるので、これが難易度を上げる原因にもなっています。

でも、僕はあきらめずに勉強し続けるつもりです。

簡単に習得出来る言語は、世界中どこを探してもないと思います。

しかし、習得不可能な言語もないはずですよ。

日本人だって、生まれた時には日本語が話せなかったはずです。何年もかけて単語を覚え、字を書き、聞き取りをして習得したと思います。

日本人は「出来ない」という意味で「難しい」と答えることが多いと思います。

しかし、英語では”Difficult doesn't mean impossible.”です。

出来ないと断言した時、はじめて物事は不可能になるのです。

18・今が全てではない

今、努力が報われずに苦勞している人は、世の中にたくさんいると思います。

いざ苦境に陥ると、それがいつまででも続いてしまうような気がしてしまったりすると思います。

僕もそんな時はたくさんありました。

振り返ってみると、特に2002年ほど努力が報われずに苦勞した年はなかった気がします。

その年は、職になかなか就けずにお金が底をついてしまった時期もあります。

やっと就職したものの解雇され、自由が恐怖となって襲い掛かってきた時期もあります。

解雇された職業のことを思い出すのが嫌で履歴書に書くのを拒否したら、職歴に空白の時期が出来てしまいました。

新たに就こうとした会社の面接に行った時に、この間何をしていったのかを聞かれて、やっぱり嫌な思いをしたことがあります。

家族との関係も最悪で、会話をすればげんかに発展してしまう状況になったりもしました。

ストレスのため過ぎで40度の熱を出し、入院したこともありません。

あんな年はもう経験したくないです。

しかし、そんな中でも僕は「今が全てではない」という言葉を胸に秘めて、切り抜けてきました。

悪いことはいつまでも続きません。

どん底にさしかかったら、生きている限り、犯罪などにはしらない限り、それ以上は下がることはありません。

今という状況を前向きに受け入れ、笑顔で生きることが出来れば、

心は幸せに生きていけると思っています。

しかし、いいことだっというまでも続くわけではありません。

幸せの絶頂になって、山のいただきまで来てしまったら、それ以上は上げられません。

「今が全てではない」という言葉は、辛い時の励みにも、幸せな時のいましめにも使えます。

生きる限り続く、山あり谷ありの日々を繰り返しながら、人生という壮大なドラマを作り上げていきましょう。

Special Thanks : 映画「佐賀のがばいばあちゃん」

19. それでも前向きに考えよう

会社で自分の机にある、試験の記録用紙が残り少なくなってきた。
した。

そこで、共用の引き出しの中にある記録用紙のストックを取りに行きました。

しかし、たまたま他の人が持っていた後だったため、ほとんど残っていませんでした。

仕方ないのでわざわざパソコンのプログラムを開いて記録用紙のページを開き、プリンターで30枚くらい印刷するはめになりました。

何で誰も印刷してくれなかったんだろう。残り少ないことは分かっていたはずなのに…。

こういった体験は結構あるかもしれませんが。

でも、そこで他人は冷たいなと考えるのは待ちましょう。

実は持っていた人は本当は残り少ないことをすでに知っていて、本当は印刷したかったのです。

しかしたまたま忙しかったため、その時間がなかったのです。

今頃その人は印刷出来なかったことを後悔しています。

もしあなたが印刷をすすんでやる人だったら、他の人がすでに用紙が補充されているのを見た時「きつと　さんがやってくれたに違いない。　さん、ありがとう。」と言ってくれるはずですよ。

一見損な役であっても、すすんで引き受ければ、自分の気づかないところで他人はそう考えてくれるのです。

現実はいつもこうなるとは限りません。

時には本当に損な役ばかりになってしまいかもしれません。

それでも物事は前向きに考えましょう。

テストでは正解することが一番大事です。

しかし、社会ではたとえ結果的に間違いであっても、前向きに考えたほうが得なのです。

20・みんなで気持ちを共有しよう

僕は今の生活を満喫しながら毎日を過ごしています。

家ではテレビもあるしパソコンもあるし、携帯電話もあります。

仕事もあつて、ある程度の月収はもらえます。

仕事が終わった後には、中日ドラゴンズを精一杯応援したりしています。

趣味で小説作りや音楽鑑賞もしていますし、休日には友達と映画を見にいったりもしています。

英語、韓国語の勉強も続けています。

僕としては当たり前前かもしれない日々ですが、それでも当たり前に過ごせることを幸せに思っています。

今の日本は世界の国々から見て、とても豊かな国になりましたが、それでも悲しみや苦しみ、そして悩みはなくならないものです。

いじめもなくなりません。自殺もなくなりません。犯罪もなくなりません。

物は豊かでも、心は満たされていない人はたくさんいると思います。

心の内を他人に打ち明けることが出来ずにじっと自分の中にしまっている人もいるでしょう。

僕もかつてはそういう人間でした。

だからこそ、悩みなどを打ち明けるような記述に出会って、夢中になって読んだりします。

自分の気持ちを打ち明けることは勇気がいります。

かえって他人から冷やかしにあうこともあるかもしれません。

しかし、それでもいいのです。

あなたは今の状況を変えたいと思っているのに対し、彼らはあな

たを今のままでいさせたいからそうするのです。

しばらく関係は悪化するかもしれませんが、それは好転反応です。好転反応とは、病気が治っていく前に、一時的に症状が悪化することです。

それを通り過ぎれば、心は安らいでいきます。

僕はこれまで外国の人と話をして、それまで知らなかった色々な情報を仕入れることが出来ました。

韓国人の反日感情に向き合った時には不快な思いもしましたが、それを受け入れ、本当に心から両国の架け橋になりたいと思うようになりました。

スコットランドの人と話をして、裏返しのピースサインを見せるのは良くないということ学びました。

アメリカの人と話をして、それまで日本の歴史の教科書の範囲内でしか知らなかった南北戦争について、白人と黒人の双方が事実とどう向き合っているのかを考えるきっかけになりました。

最初は衝撃を受けたりもしましたが、いい心の財産になりました。

英語では”A problem shared is a problem halved.”（問題を分かち合えば、問題は半分になる。）という言葉があります。

僕はこの言葉をとても気に入っています。

悩みがあるのなら、積極的に語りましょう。

たとえ直接人に打ち明けることが出来なくても、このサイトを通じて気持ちを分かち合うことが出来ます。

気持ちはみんなで共有しましょう。

新しいことを学ぶ度に、人は成長していきます。

21・Win・Win Situationでいこう(前書き)

この作品は一度は連載を完結しましたが、またいくつかアイデアが浮かんできたため、この度連載を再開することにしました。今後よろしくお願いします。

21・Win-Win Situationでいい

記憶にも新しいと思いますが、サッカーアジアカップの3位決定戦は日本対韓国でした。

勝ったほうが次回大会の出場権が得られるのですが、それ以上に宿命のライバル同士の対決とあって、両国共に盛り上がりました。結果は延長を含めて120分戦っても0対0で決着がつかずにPK戦にもつれ込み、PK6対5で韓国が勝利しました。

僕は最後までテレビで見えていましたが、最終的には受け入れがたい結果となつてしまい、相当悔しかったです。

その後、悔しさを必死にこらえながら、韓国人の友達に「韓国おめでとう。」という内容のメールを送りました。

返事はすぐに来ました。

そこには能力やテクニクなら日本のほうが上だったことや、中村俊輔をたたえる内容がありました。

それを読んで、とてもいやされた気持ちになりました。

(注：メールは英語です。日本語訳すると、言葉のあやが色々出てくる気がしたため、あえて詳しく書きませんでした。ご了承ください。)

僕と彼は仲良しの友達同士ですが、いざ日本対韓国戦となれば、決して負けられないライバル同士になります。

もしその3位決定戦と一緒に見ていたら、試合中は火花を散らしあいながら母国を応援していたと思います。

そして決着がついた時には、片一方が喜びを爆発させながら勝利の気分に浸る中で、もう一方は涙を流しながら悔しがっている光景になっていたと思います。

しかしお互い、自分が勝者で相手が敗者になった場合、相手を不

快な気分になんてさせてはいけないということも理解しています。

試合が終われば僕達は再び友達同士です。

そしてお互いの健闘をたたえあうことが出来る仲間になります。

英語では Win - Win Situation という言葉があります。

これは自分と相手の双方が得をする状況と言う意味で、ビジネスの交渉の場面などではよく使われる表現です。

勝負の世界では、片一方が勝てばもう一方は必ず負けなければならなりません。

まさに Win - Lose の世界です。

しかし、気持ちの面では Win - Win でいきましょう。

立場上はライバル同士であっても、きつと何でも相談しあえる仲間が出来ると思います。

2.2 笑顔と言えども、万能薬ではない

人生を明るく生きていくうえで、笑顔は欠かせないものです。

科学的にも、笑顔は性格を明るくするばかりでなく、病気を防いだりする効果があることが立証されています。

みなさんもむっつりしている人よりも、笑っている人のほうが付き合いやすいでしょう。

もちろん僕もそうです。

では、笑顔はいいことばかりをもたらしてくれる万能薬みたいなものでしょうか？

いいえ、必ずしもそうではないです。

時には反感を招く結果になることもあると思います。

例を挙げて説明しますと、職場であなたは自分に厳しい態度で接してくる上司の下で働いているとします。

「まだこんなことも出来ないのか！」と言われながら、あなたは頑張っています。

ある日、自分と上司と別の部署に所属している社員の3人で一緒に作業をしている時、あなたはその社員の人が間違ったことをしていることに気づきました。

そして作業を止めさせて上司に報告しました。

その時、上司はあなたに向かって「何自分で判断して勝手に行動しているんだ！」と叱ってきました。

悔しい思いをしましたが、いつものことなので黙って耐えました。その後、上司はその間違いを犯した社員のところに行ってお客様と接するような態度で「やってしまったことはしょうがない。気にするな。」と笑顔で励ましていました。

あなたは物陰からその様子を見てしまいました。

さて、あなたは どう思いますか？

恐らく、やりきれない気持ちになると思います。

つまり上司の笑顔によって、あなたの心は傷ついてしまうことになるのです。

厳しさがいけないわけではありません。

時には厳しさも必要です。

しかし、ある人には積極的に笑顔を見せ、別の人には見せないという態度では、笑顔が敵を作ることになります。

反感をつのらせ、会社を辞められてしまうことも起こりえます。

笑顔は大事です。積極的に笑いましょう。

しかし、決して万能薬ではないことも理解しましょう。

みんなにまんべんなく笑顔を見せてこそ、本当の意味でプラスの効果を発揮するのです。

23・本当の闘いはこれから始まる

7月29日に参議院議員選挙が行われました。

もちろん、僕も行きました。

誰に投票したのか、何党に投票したのかは伏せておきますが、自民党が予想外に大敗し、民主党が大健闘という結果には驚きました。この結果には国民がいかに民主党に期待しているのかが反映されていると思います。

僕はこの作品を投稿するまでに、何人もの当選議員さん達の喜ぶ表情をテレビで見えました。

発した言葉にも前向きさがあふれていました。

しかし、僕はあえてこの場を借りて

「まだ予選を突破しただけだ。本当の闘いはこれからなんだ。」と注文をつけさせていただきます。

喜ぶのはいけないことではありません。喜ぶたい時には大いに喜びましょう。

しかし年金問題が解決したわけではないのです。

これから選挙の時に私達にアピールしてきたことを実行していかなければなりません。

もし結果が出せなければ、今度は民主党が国民の非難にさらされる番になります。

いくら口が達者であっても、行動して結果を出せなければ、次の選挙では間違いなく落とされます。

当選したからには、それくらいの覚悟を持ってほしいです。

厳しい言い方ですが、そこはプロの世界です。

今回民主党が大躍進したのは、自民党に大きな逆風が吹いたことによるアドバンテージがあったからです。

これほどまでのアドバンテージは今後ないと思います。

次回選挙での生き残りをかけた競争はすでに始まっているのです。

一方で、自民党には残酷な結果になったとは言え、まだ国民みんなが見放したわけではありません。

年金問題は確かに深刻です。

テレビでは自民党が悪者のような報道が目立ちます。

しかし僕はメディアの言うことを全て信じているわけではありません。

自民党の人達もこれまで年金問題に真剣に取り組んできたはずですよ。

当選して生き残った人達には、落選した人達の間まで国民のために頑張つてほしいと思います。

国民の救世主になれるチャンスはまだ残されています。

しかし結果を出せなければ、やはり非難の的にもなります。

落選した人達も国民の意見を聞いたり、これまでに貯めた財産の一部を年金の支払いの足しにするなど、何らかのことは出来ると思います。

自分のボーナスを年金にまわしたいという意見に批判的な報道もあります。本当に国民のために尽くしたいと言つ気持ちがあるのなら、そんな報道は気にする必要はないと思います。

僕は片一方を悪者扱いし、もう一方を正義の味方扱うような物の言い方や報道の仕方には納得していません。

与党でも野党でも、国民の役に立ちたいと思う気持ちは同じはずですよ。

考え方は違つても、目指すゴール（年金問題の解決）が同じなら、どこかで協力出来ないものでしょうか？

いつまでも水と油のような状態ではいけないと思います。

選挙は終わりました。しかしそれは、ワールドカップなどの予選

が終わったようなものです。

いつになく辛口な言い方をしていますが、当選した人達は、言わばまだ大舞台で活躍するためのチャンスを与えられただけの状態です。

予選で活躍した選手が本番に出られる保証はどこにもありません。まして本番で活躍出来る保証など、どこにもありません。

与党でも野党でもかまいません。どれくらいの議員さん達が本当に国民のために結果を出せるか、彼らの努力によってトータルでどれくらいの人達の年金問題が解決するか、見守っていくつもりです。

本当の闘いは、これから始まるのです。

(8月4日加筆)

その後、新聞などで記事を読んでいると、民主党は衆議院の年内解散や、他の政党に協力を呼びかけたりするなど、自分達の勢力拡大をはかっているような報道が目立つようになりました。

やってはいけないことではないのですが、国民が本当にやってほしいと望んでいることは、民主党の勢力拡大よりも、年金問題などの解決に向けた政策のほうです。

選挙が終わってから、年金問題など、国民の生活を第一に考えるような記事を見かけなくなっていました。

果たして本当に民主党にまかせて大丈夫なのか僕としては気がかりですが、とりあえずは見守ることにします。

24・今の常識はいつか変わる

今世の中にはカメラがあふれています。

フィルムカメラ、デジタルカメラ、使い捨てカメラ、カメラ付き携帯電話がありますが、皆さんもどれかを使ったことはあると思います。

旅行に出かけた時や、何かの記念式に出た時には必需品になることも多いと思います。

もちろん、僕もそうです。

もはやカメラのない生活は想像出来ない人も多いのではないかと思います。

では、カメラが最初に世の中に出回った時の評判はどうだったのか、ご存知でしょうか？

実は、「写真を撮ると、魂を吸い取られる！」とか「命が短くなる！」といった、風評が飛び交ってしまい、みんなの嫌われ者だったのです。

今となつては信じられないかもしれませんが、これが当時の現実でした。

現代の人達に「写真を撮ると、魂を吸い取られるよ。」という話をして、多分冗談で済まされてしまうと思います。

では、今ちまたでみんなが信じ込んでいることや、そんなの常識だと思っていることは、これからもずっと常識でいつづけるとは限りません。

フロンガスは人体に無害で、精密機器の洗浄や冷蔵庫、エアコンの冷媒などに使うことが出来、一時は「夢の物質」とまで言われま

しかしその後、オゾン層を破壊する物質であるということが判明し、今ではすっかりイメージが変わってしまいました。

様々な困難を乗り越えてやっと実用化にこぎつけることが出来たロータリーエンジンは、燃費が悪い、環境問題に対応しにくいといった理由で、オイルショック後に生産中止にまで追い込まれました。ちまたでは今でも「ロータリーエンジンは燃費が悪い。」という声飛び交っています。

しかし、今では燃費などの問題も大幅に改善され、再び復活を果たしています。

さらには水素エンジンに使うための研究が行われています。そのうちまた広く世の中に出回ることもありうると思います。

遺伝子組み換え食品は、現段階ではイメージは最悪の状態です。中には遺伝子と聞いただけで何か有害な作用でもあるのではないかと言う人もいます。

しかし核酸はサプリメント剤として、薬局で売られています。遺伝子と核酸の関係は、デンプンとブドウ糖に置き換えると分かりやすいと思います。

つまり、遺伝子を小さく分解したものが核酸であり、私達の体になくしてはならないものなのです。

遺伝子組み換えと聞くと、言葉の響きは良くないかもしれませんが、要は品種改良です。

農業に携わってきた人達はこれまで交配などの方法で品種改良をしてきました。

しかし、交配では役に立つ部分と、役に立たない部分が出来てしまいます。

それを役に立つ部分のみを残したいという目的で、遺伝子組み換え技術が使われるのです。

遺伝子組み換えによって出来た作物は、研究室から閉鎖系温室

非閉鎖系温室 隔離圃場 一般農場といった過程を経て、安全性をクリアしてやっと商品になります。

僕は遺伝子組み換え技術に関する本を読み、ちゃんと知識として身につけたうえで文章にしました。

(参考資料：遺伝子組み換え食品がわかる本 法研)

ロータリーエンジンなどでもそうですが、世間の風評には決して負けたくないと思っています。

今は辛い状況に置かれている物事でも、それがずっと続くわけではありません。

今の常識はいつか変わっていきます。

まさかと言いたくなるのですが、10年後にはすっかり常識になっている可能性は充分にあります。

現段階でマイナーな分野に甘んじていることを、ぞんざいな目で見ていては、そのうち大成功のチャンスを逃すことになると思います。僕が考えています。

25・お礼は魔法の行為

ある日の朝、会社に通勤するために車を運転している時のことです。

横断歩道の近くで、何人かの子供達が会話をしながらもうすぐ交差点にさしかかろうとしていました。

そのまま通過しても事故にはならない状況でしたが、それでももしものことを考え、ブレーキを踏んで車を止めました。

すると、子供達がそのまま会話を続けながら横断歩道を渡っていききました。

まるで僕の手が見えていないかのような光景でした。

こちらとしては、せつかく止まったのにといい感じがしました。

それでもいちいち気にしてはきりがないので、素早く気持ち切り替え、運転を続けました。

翌日、横断歩道の近くでまた子供達が会話をしながらもうすぐ交差点にさしかかろうとしていました。

前日のことが一瞬頭をよぎりましたが、それでもやっぱり止まることにしました。

すると、子供達がこちらを向いてお礼をしながら渡っていききました。

僕の手が止まってくれたことに感謝してくれている光景でした。

こちらとしては、止まってあげてよかったと思い、嬉しくなりました。

この二つの違いは、子供達がお礼をしたか否かだけですが、僕にとっては気持ちに随分違いが来ました。

お礼は積極的にしましょう。たとえ自分にとってはプラスマイナスゼロに思えるようなささいなことであっても、相手の気持ちは随

分変わってくると思います。

とは言え、僕はお礼をしなかったことを批判しているわけではありません。

人は普段どんなにお礼を言おうと心に決めていても、時として忘れてしまうことがあります。

それにこちらもあり物事一つ一つに反応していても心が疲れるだけです。

だから相手からお礼がなかったとしても「そんなこともあるさ。」というくらい気持ちで軽く流してみよう。

そして、相手がお礼をしてくれた時には、こちらもしっかりとお礼を言いましょ。

そうすれば、自分で悪循環を食い止めることが出来、好循環を導くことが出来ます。

あいさつが魔法の言葉なら、お礼は魔法の行為なのです。

26・給料はがまん代、叱られ代、流した涙代

テレビで有名スポーツ選手の年俸の額などが報道されることがあります。

僕自身もそれを見るとすごいなと思えてきます。

ただ、それを時給いくら、一試合あたりいくら、一打席あたりいくらといった報道には納得はしていません。

その言い方では、野球選手は1日約3時間、サッカー選手は1日90分しか仕事をしていないことになってしまいます。

彼らは試合以外の時間にも、常に練習をしています。

少しでも結果を出せるように、私達が寝静まっている間も、バツティングフォームの修正をしています。シュートの精度を上げるためのトレーニングをしています。

漫才師が1日24時間の全てを漫才のためにささげるくらいの覚悟がないと生き残れないように、彼らも1日24時間をスポーツのためにささげていると思います。

また選手達は常にファンからの期待を受け、プレッシャーの中で生きています。

プロ野球の場合、強いチームであっても、10試合のうち大体4試合は敗北という現実に向き合わなければなりません。

それでも試合に負ければ、ファンから容赦のないブーイングも受けます。

どんなに打てる打者であっても、10打席のうち6打席は凡退となってしまう。

かといって、もし一打席だけ打席に立って、ヒットを打ちそれ以降試合に出なくなれば、打率は10割ですが、ファンは到底納得などしないと思います。

彼らも人間です。時には八方ふさがりな状況になって、やりきれない気持ちになることもあるはずです。

それでも逃げ道はありません。私達ファンが求めているのは結果である以上、結果を出さずしか生き残る道はありません。

私達だっいたら思わずぶち切れてしまいそうなことでも、彼らはじつとがまんしています。

たとえ発言に悪気はなかったとしても、悪く報道されてしまうことがあるので、言葉のあやにも気を使っています。

今は高額年俵がもらえても、3年後どうなっているのか分かりません。

彼らはいわば年俵の代わりに色んなものを引き換えにしているのです。

私達は仕事をしていて、給料が少ないと言いたくなくなることがあると思います。

しかし、給料はいわばがまん代です。叱られ代です。流した涙代です。

上司をぶっ飛ばしたくなくても、それに耐えたことが給料となって還元されるのです。

お客からの苦情を最後までじつと聞き続けたことが給料となって還元されるのです。

会社に迷惑をかけてしまい、泣いて悔しかったことが給料となって還元されるのです。

そう考えると、自分の給料に文句を言うことも減ると思います。当たり前のように給料がもらえて、生活出来ることに感謝の心を

忘れないようにしましょう。

27・失言は誰にでもある

今年も広島、長崎の原爆記念日がやってきました。

この時期になると、テレビや新聞などでは原爆の体験談や平和を願う訴えなどがよく報道されます。

僕もそうだった記事を見ると心が痛みますし、この悲劇は決して繰り返してはならないと思っています。

機会があれば外国の人にも核兵器の恐ろしさや、平和の尊さを訴えていくつもりです。

そんな中、久間氏が自分の発言が問題となり、彼が式典に参加出来なかったことは僕としては残念でした。

確かに言ったことは失言なのですが、それでも本人は反省していませんし、原爆に反対する気持ちははっきりと持っているはずです。

報道ではあの一言ばかりが取り上げられています。では講演で言ったこと全体の流れまで把握していたとしたら、果たしてどうだったのでしょうか？

僕はそんな疑問を持ち続けています。

「人は誰でも失敗をする。」「失敗から学べばいい。」というような言い方をよく聞きますが、今回の報道や人々の反応の仕方では、何だかそれが空しく響くような気がします。

かといって、僕は決して被爆者や遺族の方々を軽視しているわけではありません。

僕も日本人として核兵器は絶対に許せませんし、世界中の国々に核兵器をなくしてほしいという願いを持っています。

その点は読者の方々にきちんと理解してほしいです。

それでも、世の中では自分の言ったことが、相手に違った意味で伝わってしまうことはよくあると思います。

例えば、大ヒット曲「世界に一つだけの花」の場合、その前向きな歌詞に励まされたという人は多いと思います。

僕もそうです。カラオケでよく歌いました。

しかし「No.1にならなくてもいい」という一節に注目し、「向上心の放棄だ。」と言う人もいます。

その意見に関しては僕も納得出来ませんし、「そういう意味じゃないのに。」と言いたくなります。

もし自分の言ったことが、相手に全体の流れを無視され、ある一節だけに注目されて違う方向に解釈されたとしたらどう思うでしょうか？

人は誰もが失敗をします。失言を言うこともあります。

失敗を追及するのはいけないことではないのですが、次は我が身という自覚も持ちましょう。

(8月27日修正)

この「新・発想を変えてみよう」で、32番目に載せた作品「善悪は簡単に決められない」を執筆するための資料を集めている時に社民党の福島議員が「痴漢事件には必ず加害者が存在するのであるから、冤罪者が出る危険性もあるが、女性の人権擁護を第一義的に考え、そのリスクは社会的コストとして受け入れるべき。」と書いていた文章を見つけました。

正直「痴漢をなくすためならえん罪者が出てもしょうがない。」と言っているように聞こえますし、僕としてはこれも失言だと思いません。

もしあなたがこの発言をした後、人違いで痴漢の加害者にされてしまった人の気持ちをつづった作品を見たと思います。

その時、あなたは自分が言ったことが失言ではないと言い切れませんか？

28・現実の受け止め方で人生は変わる

この作品は折原 奏先生の作品「僕と悠の未来図」シリーズを参考資料にし、筆者の承諾を得た上で作り上げたものです。

折原先生にはこの場を借りてお礼を申し上げます。ありがとうございました。

今の日本は世界の国々から見れば豊かで幸せな国です。

しかしそれでも命を粗末にするような事件はなくなりません。いじめもなくなりません。詐欺まがいの事件はなくなりません。

また、人は誰もが考え方や解釈の違いがもとでけんかをしてしまうことがあります。受け入れがたい現実や辛い現実を突きつけられることがあります。

世の中が豊かになっても、人生の中で壁は必ず立ちはだかります。どうしてもうまくいかないこともあります。

ではその中で人はどうやって生きていけばいいのでしょうか？

僕はそのヒントを折原 奏先生の作品「僕と悠の未来図」シリーズから学ばせていただきました。

この作品の中では、現実をしつかりと受け止めながら頑張って生きる湊と、現実にかツカしながら生きる香織の対照的な姿が印象に残りました。

湊は若干22歳にして、事実上の別居（言葉のあやがあるかもしれませんが、僕としてはこのように解釈させていただきました。）、子供のいじめ、香織の態度などいくつもの大きな壁にぶつかっています。

特に香織には一方的に文句を言われ、関係修復は八方ふさがりの状態です。

僕は湊より年上ですが、もし自分がこのような状況になったら果たして耐えていけるのかなと思いました。

もちろん、湊は今の現実を変えるために何とかしようと思いをしています。

しかしたとえ努力がうまくいかなくても、その現実をしつかりと受け止め、分かってくれる人に支えられながら、前向きに生きていく姿に感動しました。

その影響からでしょうか、悠も10歳とは思えないくらいにたくましさを感じ取りましたし、将来が楽しみでした。

一方の香織は、その後編でも湊の話に耳を傾けようとせずに力をつけていましたし、自分が幸せになれないことを人のせいにして生きていくような感じでした。

僕の想像ですが、湊と別々に過ごしている間も色々大変なことがあったと思います。

そして、その度に「私がこんな辛い目にあっているのは湊のせいよ！あの人のせいで私は幸せになれないのよ！」と言い続けているのだらうと思います。

そして出会った人に何とか同情を求めながら聞き入れてもらえず、その度に「どうして誰も私の気持ちを分かってくれないのかしら。」「私のまわりにはつまらない人しかいない。」といい続けているのではないかと思います。

うまくいかない現実に文句を言ったり、批判したりするのは簡単なことですが、それでは気持ちは前向きになりません。

それに現実をいくら変えても、世の中を豊かにしても、心が変わらなければ人は幸せにはなれません。

「僕と悠の未来図」シリーズの作品からは「現実を変えることは大事。でも現実を受け止めることはもっと大事。」ということを見せていただきました。

現実の受け止め方で人生は変わります。
僕も湊のような生き方を見習っていききたいです。

29. 分かってくれる人はきつという

先日韓国から来た韓国人の友達と久しぶりに再会し、色々話し合う機会がありました。

ちょうどテレビで戦争の体験談や平和を訴える映像が流れている時期でした。

僕はそれを見ながら日本人も決して好きこのんで戦争をしたわけではない、日本人も苦しんできたと言うようなことを友達に話しかけました。

(注：僕は決して侵略は仕方がなかったと言うような妥協を求めたわけではありません。読者の皆様にはそこを間違えないよう、お願いします。)

それでも侵略してしまったという事実は変えられるものではありません。

また、現在のことに関する話題でも、お互いの間には考え方の違いがありました。

例えば僕が韓国に行った時、天気予報を見てショックを受けた時のことを打ち明けました。

(理由に関してはあえて打ち明けません。しかし、日本の天気予報をもしロシア人が見たらどう思うかということに置き換えれば、分かりやすくなるのではと思います。)

またテレビでは韓国人が反日デモをする映像を時々見かけることも話しました。

しかし友達は

「あれを見て、韓国人はこうだなんて決め付けないでほしい。」

「デモに参加する人はごく一部だ。」

「僕達だって仲良くしたいんだ。」

と僕に訴えていました。

僕はそれまで韓国について前向きな発言を繰り返してきただけに、友達はショックを受けたようで、さすがに怒られました。僕も言い過ぎたと思い、反省しました。

しかし、テレビや新聞などの情報だけでは知ることの出来ない、韓国人の本心を知ることが出来たことは僕にとって大きな収穫でした。

両国の人達の間には、完全には共有することの出来ない食い違いがあります。

しかし、日本人であっても韓国人であっても、友達を傷つけたり、築いた関係を壊すようなことをしてまで、自分の利益ばかりを追求しようとは考えたくないはずです。

国が違っても、考え方が違っても、背負った過去が違っても、それを認め合い、本当に心から分かり合える関係を築くために努力してくれる人はきっと大勢います。

悩みがあるなら思い切って打ち明けてみましょう。

気持ちを分かってくれる人はきっといます。

30・一番立派なのは最初に始めた人

理科の生物で習うことの中に、「メンデルの法則」という遺伝に関する法則があります。

これは丸型の種子をつけるエンドウと、しわ型の種子をつけるエンドウを交配すると、次の代では全てが丸型の種子になり、さらにそれを交配すると、丸型としわ型が3対1になるという法則です。

メンデルはこの法則を1865年に発表しましたが、当時の人達から認めてもらえませんでした。

その後、彼の死後16年経った1900年に、遺伝に関する研究をしていたドゥ・フリース、コレンス、チエルマクの3人によってやっと認められました。

彼ら3人は自分達が人々に評価されるということも出来たと思いますが、それでも「最初に始めた人だから。」という理由で、メンデルを評価することにしました。

僕は理科でこれを学んだ時、メンデルもすごいけれど、この3人の勇気もすごいなと思いました。

その後、大学の研究室で「一番立派なのは新しいことを最初に始めた人」ということを改めて実感しました。

この時学んだことは「僕のMY箸体験記」や、別サイトに掲載されている映画「銀色の髪のアギト」の二次創作作品にも活かされています。

僕は今でも飲食店に行くと、MY箸を使っています。

そして「誰もやらないのなら自分が最初に始めてみよう。」と自分に言い聞かせています。

しかし、友達と一緒に食事に行った時、MY箸を使っていると「気持ち分かるけれど、何かこっちが恥ずかしい。」と言われてし

まいりました。

僕は「MY箸」の中で書いたことをあげて、自分の思惑を説明しましたが、結局相手の気持ち配慮し、その人の前では割り箸を使うことにしました。

誰もやらないことを自分が最初にやるといった発想は、いいことばかりではありません。

時にはまわりに合わせたほうがいいこともあります。

それでも僕は基本的には、自分の信念を貫き続けるつもりです。

その時には認めてもらえなくても、今が全てではない。メンデルの法則ようになる時が来ると自分で信じています。

研究の世界では最初に成功した人よりも、最初に始めた人のほうが人々に評価されるといったケースが多々あります。

日常生活でもこれは多くの場面で当てはまると思います。

あなたがもしドゥフリーヌだったら、その功績をメンデルに譲る勇気がありますか？

31・みんな頑張っている

サッカーアジアカップや北京オリンピック最終予選で、日本はベトナムと対戦しました。

ベトナムは、アジアカップの時にはスタンドを埋め尽くした大勢のサポーターに支えられ、一時的にはありますが、日本相手にリードを奪って、こちらの肝を冷やしました。

彼らの頑張りが目に焼きついたからこそ、僕は試合後、ベトナムが予選リーグを突破したことを知って大喜びしました。

北京オリンピック最終予選では日本に対して何度も攻撃を仕掛け、後半にはあわや同点というシーンもありました。

こちらとしてはやはり肝を冷やしましたが、疲れきっている状況になっても最後まであきらめずにボールを追い続け、日本を苦しめる姿は印象に残りました。

日本代表も頑張っていますが、ベトナムの選手の頑張りを見て、相手は決して倒されるために来ているわけではない。みんな頑張っているんだなと思いました。

みんな国を背負って戦っている。みんな厳しい競争を勝ち抜いて戦っている。みんな悩んだり苦しんだりしながら戦っている。

サッカー日本対ベトナム戦を見てそう思いました。だからこそ、「何で格下相手に1点しか取れなかったんだ!」といった、相手を見下すように思える表現は出来るだけやめてほしいと思っています。

仕事でなかなか結果が出ずにもがいている状況であっても、みんな努力しています。みんな全力を尽くしています。

その頑張りにもっと注目してあげましょ。

3.2・善悪は簡単に決められない

我々が毎日摂取している食物には大抵コレステロールが含まれています。

コレステロールには善玉と悪玉があります。

善玉コレステロールは血中に含まれている悪玉コレステロールを肝臓に運んでいく作用があり、善玉の割合が大きいと健康に過ごせるというデータがあります。

一方、悪玉コレステロールは多すぎると病気の原因となりますし、活性酸素と結びついてしまうと私達の体を傷つけてしまいます。

悪玉はその名前のせいか、悪者というイメージがつきまっています。

しかし細胞膜の原料となりますし、私達の体になくってはならないものです。

名前を変えるということは出来ないと思いますが、単純に善悪で判断するのは良くないという一例だと思います。

適切な量を摂っていれば、悪玉コレステロールは正義の味方です。

善悪は簡単に決められないという例は、痴漢えん罪に関しても当てはまると思います。

事前に映画やネット上の記事などで情報収集しましたが、被害者となつてしまった人の悲痛な気持ちは心にかなり響きました。

世の中が被害者有利な状況である以上、電車内で携帯電話の使用を注意された腹いせや、遅刻の言い訳をするため、平凡な日々にか刺激が欲しいという気持ちから「痴漢です。」と言ったりするケースが出てくるのは無理もないと思います。

僕も通勤や、遊びに行く時に電車を使っています。

その際、かばんからのど飴を取り出そうとした時に、もし近くに

いる誰かに手が当たったらと思ったりします。

ヘッドホンから音が漏れている時に「ボリユームを下げてもらえますか？」と言ったら、何て言い返されるのだろうと思ったりします。

(それでも李秀賢さんを見習って、言っています。)

女性専用車両という表示が出ている車両には、時間外になっても男が入ってきたら何て言われるのだろうという思いがあり、怖くて入れません。

電車を降りて階段を上る時でも、スカートをはいている女性が前方にいと、下や横を向いています。

もしもの時に勝ち目が薄い世の中だからこそ、いつ人生を狂わされるのか不安がつきまっています。

正直、本当に痴漢にあつた人のことも考慮しなければなりません。これだけあれこれ書いてしまうと、その女性の人達から何か言われるかもしれませんが、それでもこうやって書かせていただきました。

世の中、善悪というものは我々が考えているほど簡単には決められるものではありません。悪と決め付けて物事を考えると、長所を見逃すことにもなります。善を裁いてしまうことにもなります。何がいいのかこの場ではつきり言うことは出来ませんが、正義には充分気をつけましょう。

参考資料：映画「それでもボクはやってない」

33・相手を生かすやり方を考えよう

人生の中で人を注意したり、叱ったりすることはきつとあると思います。

僕は注意するために何か指摘したりすることが度々あります。

電車の中でヘッドホンから音が漏れていると、いつもではありませんが声をかけますし、会社で余計な電気がついていると節電を呼びかけたりします。

叱るのはまだまだ不器用ですが、地道にノウハウを積み重ねていきます。

人は他人を叱る時に、ついつい感情的になったりして人を傷つけたり、落ち込んでいる人をさらに追い詰めてしまったりすることがあると思います。

僕も仕事がつまみかずに落ち込んでいる時、上司に「もっと悩め。」と言われたことがあります。

自分ならこの場面では到底他人に言えない言葉でした。

正直、余計に傷つきました。そして相当悔しくなりました。

ボクシングでは相手が落ち込んだり、隙を見せた時には、一気に攻撃してダウンさせるチャンスです。

しかしこのようなことを裁判、警察での取り調べ、職場、部活動などでやっているケースがかなりあるような気がします。

相手をつぶすようなやり方はやめましょう。

自分にもプラスにはなりませんし、言わばNo-Win Situation（Win-Win Situationの反対の意味で使いました。）です。

こういう時には相手を生かすやり方を考えるのが鉄則です。

では、相手を生かすやり方とはどんなことなのでしょう？

これは僕自身もすぐに具体例を示すように言われたら困ってしまいます。

しかし自分が尊敬している人のやり方を参考にしてみようと考えています。

僕が尊敬している人は李秀賢さんです。

李秀賢さんは、強い人に強い人で、弱い人に弱い人でした。

いじめられている人を助けたことも何回ありました。

礼儀を守らなければ厳しく叱る反面、他人のリュックを背負ってあげる一面もありました。

「何事にも立ち向かっていかなければならないと思う。」

「最善を尽くせば、結果はそれほど問題ではない。たとえだめでも、再び挑戦すればいい。」と本人は語っていました。

もし秀賢さんが会社の上司だったら、きっと部下はイキイキしたでしょうし、スポーツチームの一員だったら、きっとそのチームはどンドン伸びていくと思います。

人を生かすやり方は決して簡単には出来ないと思います。

うまくいかずに、人を落ち込ませてしまうこともあると思います。

それでも僕はあきらめません。秀賢さんのやり方や彼の言ったことを胸に秘めて立ち向かっていくつもりです。

僕の言った言葉でイキイキしてくれれば嬉しいです。

参考資料：映画「あなたを忘れない」パンフレット

34・失敗を許してあげよう

人間、誰もが失敗をします。これは世の中で生きている以上、覆すことの出来ない現実です。

しかし他人が失敗をした時に厳しいことを言っておいて、自分が失敗した時に「まあいい。」で済ましてしまうケースもあります。この人は失敗を許すことが出来ず、認めることも出来ません。時にはそれが原因で大変なことを招いてしまう場合もあります。

テレビなどで事件が報道された時、容疑者を知る人のインタビューで「あの素直で真面目な人がどうしてあんなことをしたのか、信じられない。」と言うようなコメントを聞いたことがあると思います。

恐らく容疑者になってしまった人は、確かに素直で真面目な人だったと思います。

しかしその反面、失敗に厳しい人でした。

他人の失敗を許せずにあれこれ指摘してきたことで、自分の失敗も許せなくなってしまうた。

そのために、失敗を表に出せなくなってしまうたのです。今さら後戻りも出来ません。

すると、他人には必要以上に気を使うようになり、自分には必要以上に自身を追い詰めるようになります。

そして、その八方ふさがりな状況にとうとう耐えられなくなると、事件を起こしてしまうたのです。

自分が失敗したらず謝りましょう。そして気持ちを切り替えましょう。

善意で他人が失敗したら、まずそれを許してあげましょう。

失敗を許してもらえないと、人はとても傷つきます。

本当は大したことではないはずなのに、必要以上にクヨクヨしてしまいます。

小さな失敗でも敏感に反応するようになります。屈辱と考えるようになりません。隠すようになりません。

それを積み重ねるうちに、取り返しのつかない大きな失敗をするようになるのです。

失敗する人は、失敗を素直に認めることが出来ません。失敗した時の対処にも優れています。

サッカーの試合で、シュートを失敗した選手が笑っていることがあります。

野球の試合で、投球をボールだと思って見逃したら三振してしまいました。

その時にそのまま素早くベンチに引き下がっていく選手をよく見かけます。

彼らは失敗しても、それを踏まえた上で素早く気持ちを切り替えているのです。

加えて彼らは他人が失敗した時にも、素早く気持ちを切り替えさせることの出来る人だと思います。

失敗はいつでも、何処でも、誰でも起こりうるものです。

失敗を許してあげましょう。

人はそこから新しいものを得て、成長していくのです。

34 失敗を許してあげよう（後書き）

ここまで読んでいただき、誠にありがとうございました。

発想を変えてみようシリーズは、これにて終了するつもりです。

もし今後アイデアが集まってきたら、別タイトルで掲載するつもりです。

僕が書いたことが、読者の役に立つことを願っております。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2672c/>

新・発想を変えてみよう

2010年10月8日15時52分発行